

授業科目 知覚伝達表現特論

Advanced Lecture : Expression for Perceptual Communication

担当 三枝 泰之

「近代」という巨大な枠組みの中で創作・表現するという事は、アート・マーケットなど市場のシステムに晒されまた隣接していくことでもある。

本来作品制作・表現とは展示・収蔵・興行という一義的なシステムだけで捉えることなく、動機に未分化な表現への情動や止まれぬ欲動に支えられている。

ここではパフォーマンスや学外に於ける課外体験などを通じ、根源的な「表現」に関わる動機、判断などの準拠枠を考察する。そこで教材として配布するレジュメや視聴覚教材などに加え、第三世界、異文化、周辺文化でのフィールドワーク、体験的な学習を取り入れたい。

自らの文化的土壌を客観的に対象化し、表現の枠組みと動機要因等を模索する。